ひとが輝くまち

広報ゆざ

YUZA Town Public Relations

平成30年　No.691

10

今月の話題

第26回奥の細道鳥海ツーデーマーチ …… 2P
平成29年度決算 …… 4P
ほか

鳥海ツーデーマーチ

ウォーカーの皆さんへ応援のエール！

ゲートをくぐって出発！いってきまーす！

元気に歩くぞ！エイエイオー！

ぼくもスタンプてつだうよ！

鳥海山に見守られながら、さあ歩こう！

第26回奥の細道鳥海ツーデーマーチ特別企画

ウォーキングで俳句イング

鳥海ツーデーマーチにちなみ、遊佐の自然や文化に触れて歩きながら「そこで一句」の俳句を募集しました。

この結果、全国から43点の投句がありました。優秀作品は次のとおりですので紹介します。どれもツーデーマーチを楽しんで力強く歩く姿が作品にあふれています。

特選の方々には、記念品として遊佐町の特産品を贈らせていただきます。

すばらしい投句をありがとうございました。

〈敬称略〉

❖優秀賞

特選1 友はいま　歩きつかれて　鳥海山を見る
宮田　敏雄（兵庫県川西市）

特選2 太鼓鳴る　大パノラマの　ツーデーマーチ
高橋　佑介（千葉県浦安市）

特選3 いらっしゃいと　両手を広げる　鳥海山
佐藤　幸子（山形県上山市）

特選4 湧水の音　耳に易しい　遊佐の町
立花　とも子（千葉県野田市）

特選5 鳥海を　背に老若の歩　軽やかに
佐々木　清子（山形県米沢市）

❖特別賞

鳥たちも　虫たちもみんな　歩いてる
鳴瀬　このは（遊佐小学校2年）

たのしいな　ツーデーマーチ　またこよう
坂本　結咲（酒田市立松陵小学校3年）

●問／奥の細道　鳥海ツーデーマーチ事務局（生涯学習センター内）

第26回 奥の細道

友達と手をつないでゴール！

ちゃんと完歩賞ももらいました！

本部ではさまざまなアトラクションも！

みんな一緒にハイチーズ！

９月１日㈯～２日㈰にかけて、第26回奥の細道鳥海ツーデーマーチが開催されました。全国から2,817人のウォーカーが参加し、鳥海山と日本海に囲まれた遊佐町のロケーションを満喫しながら歩く姿が見られました。

参加いただいた皆さま、またボランティアで大会を支えてくださった皆さま、どうもありがとうございました。

平成29年度

決算

平成29年度の各会計決算が、9月定例議会で承認されました。

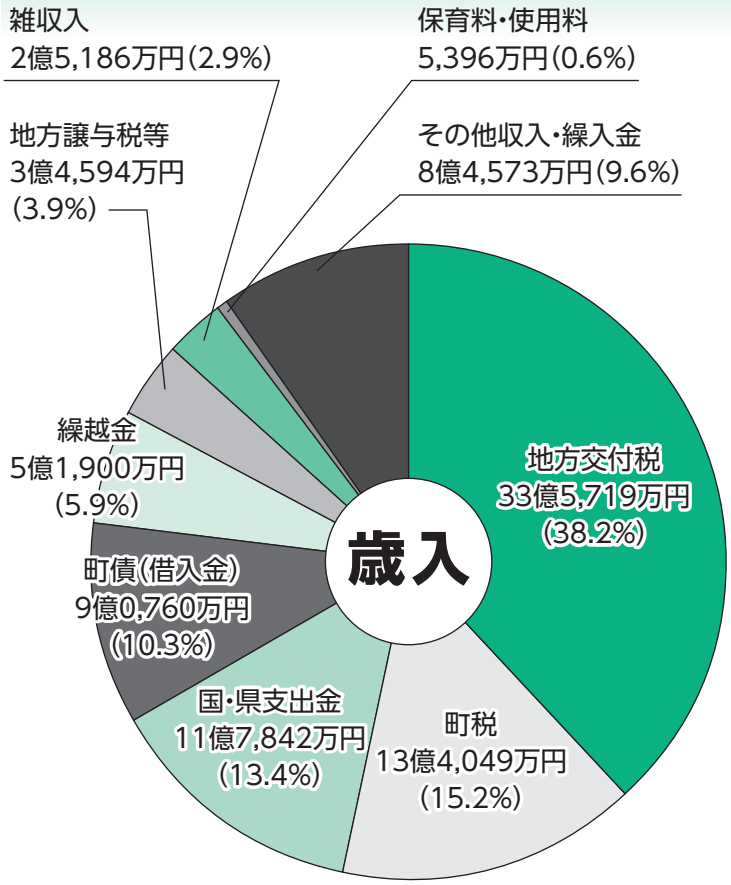
遊佐町を支えているのは、皆さんからお預かりした「税金」を始めとする歳入予算です。

前年度町にどれくらいのお金が入り、そしてどれくらい使ったのかをご報告します。

●圀／総務課財政係　☎72-5880

歳入

88億19万円



前年度決算との比較増減

区　分	29年度決算額	28年度決算額との比較
地方交付税	33億5,719万	▲5,122万
町税	13億4,049万	8,423万
国・県支出金	11億7,842万	▲5億3,931万
町債(借入金)	9億0,760万	▲8,490万
繰越金	5億1,900万	1億3,608万
地方譲与税等	3億4,594万	1,732万
繰入金	3億9,659万	9,459万
雑収入	2億5,186万	▲1,176万
保育料・使用料	5,396万	412万
その他収入	4億4,914万	2億0,823万
合計	88億0,019万	▲1億4,262万

歳入は町税が増

歳入は、町にどこから、いくらお金が入ったかを表すものです。平成29年度決算額は前年度比1億4,262万円減の88億19万円でした。

最も多いのは地方交付税の33億5,719万円で、全体の約38・2％、国・県からの支出金が11億7,842万円で全体の約13・4％を占めています。また、町債が9億760万円（前年比▲8・6％）と減額となりました。町税は、町民税・固定資産税の増収などにより13億4,049万円（前年比＋3・0％）になりました。

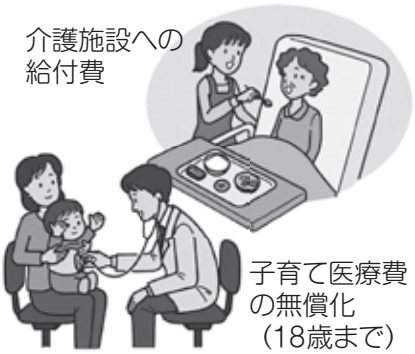
投資的経費の減、積立金の増

歳出は、町がどんなことにお金を使ったかを表すもので、前年度比1億2,418万円減の82億9,962万円でした。

投資的経費は、7億5,672万円で、7億9,297万円（前年比▲51・2％）の減となりました。これは平成28年度に吹浦防災センターの建設や社会教育施設の整備事業などを実施したためです。行政的経費では、人件費が12億4,385万円（前年比＋3・6％）、公債費が9億4,560万円（前年比▲16・5％）となりました。また、積立金は新庁舎建設のために積立をしたことにより、4億5,933万円（前年比＋123・6％）と前年度に比べ大幅に増額となりました。

扶助費　9億2,128万(11.1%)

保育料の無償化
(3歳から)

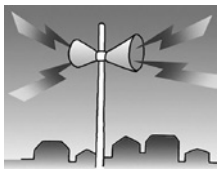


介護施設への
給付費

子育て医療費
の無償化
(18歳まで)

投資的経費　7億5,672万(9.1%)

道路･橋りょう、公共施設、小中学校、
公園などの改良･整備



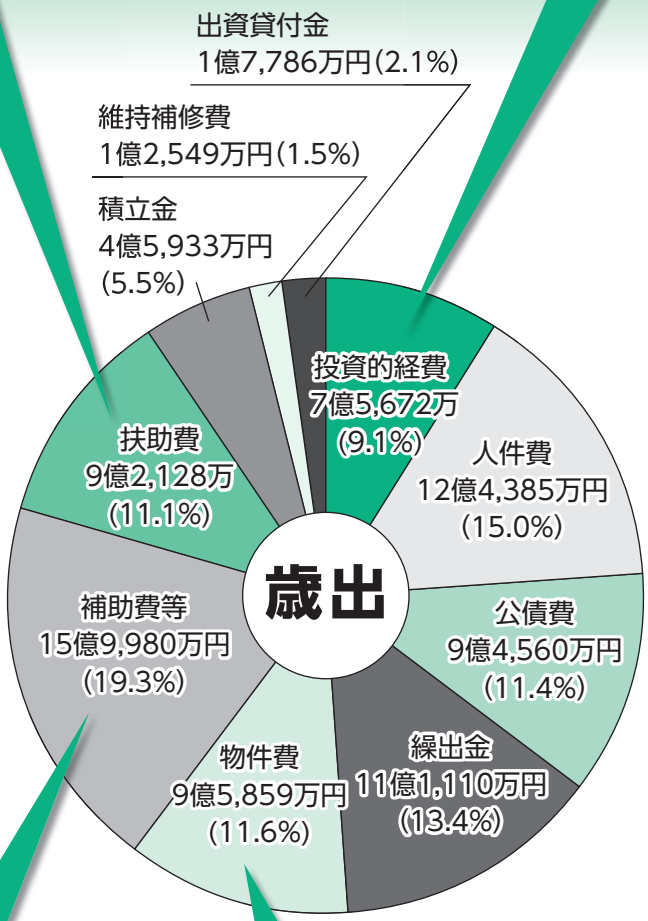
防災無線、ポンプ車、
防災倉庫などの整備

歳出

82億9,962万円

前年度決算との比較増減

区　分		29年度決算額	28年度決算額との比較
投資的経費		7億5,672万	▲7億9,297万
行政経費	人件費	12億4,385万	4,333万
	公債費	9億4,560万	1億3,423万
	繰出金	11億1,110万	▲1,071万
	物件費	9億5,859万	▲399万
	補助費等	15億9,980万	2億3,380万
	扶助費	9億2,128万	424万
	積立金	4億5,933万	2億5,392万
	維持補修費	1億2,549万	3,365万
	出資貸付金	1億7,786万	▲1,968万
合計		82億9,962万	▲1億2,418万



補助費等　15億9,980万(19.3%)

酒田地区広域行政
組合運営負担金
(消防、ごみ処理)

農業関連補助金、
ふるさと納税返礼品など

物件費　9億5,859万(11.6%)

臨時職員賃金

業務委託費
各種検診業務、電算システム保守管
理業務、一般廃棄物収集業務など

～町民主役の財政へ～

町財政の現状

「町民主役のまちづくり」のためには、基盤となる町の財政が健全でなければなりません。ここでは、町が今後国や金融機関に返済していく借金がどれくらいあるのかをお伝えします。

町民一人あたりの借金は減少

一般会計の町債残高は、約81億4千万円（前年比＋2千万円）です。これに利子分を含めた30年度以降の償還金総額は、約84億5千万円です。償還元利金には、将来の国からの交付税約66億2千万円と貸付金返還金が含まれており、それらを差し引くと町民の実質負担額は約17億1千万円（前年比▲1億5千万円）です。また、特別会計を合わせた全体の町債残高は約150億7千万円（前年比▲2億4千万円）で、将来の町民負担額は約33億2千万円です。

これにより、町民一人当たりの実質的な借金額は、一般会計で12万1,516円（前年比▲8,835円）、全体では23万5,714円（前年比▲2万978円）となりました。

債務負担行為の状況

債務負担行為とは、借金返済とは違う「将来にわたる債務」のことで、当該年度の予算と併せ翌年度以降の支出を約束して、限度額を定めています。

主な内容は、住宅リフォーム資金貸付利子補給、農林水産関係利子補給等の補助金、子育て世帯移住奨励金、町有施設管理業務委託料があります。

今年度以降の一般会計における支払予定額は、2億6,618万円です。

一時借入金借入れ実績はなし

一時借入金とは、予定した補助金や交付税等の歳入が支払に間に合わない時に、一時的に資金を賄い、赤字を解消する「つなぎ資金」のことです。

29年度の一般会計予算では、限度額5億円と定めておりましたが、借入実績はありません。ただし、町の貯金である「財政調整基金」や「減債基金」の繰替運用により一時的に資金不足を補っています。

借金の少ないまちへ

29年度は、財政の弾力性を示す経常収支比率が83・9％と前年度より1・0ポイント上昇しました。また、率が高いほど財政運営の硬直性の高まりを示すとされる公債費負担比率は15・6％で、1・5ポイント上昇しています。町の貯金、基金の総額は28億6,986万円（前年度比＋9,301万円）、町民一人あたりでは20万3,753円（前年度比較＋9,023円）となっています。

今後も、経常経費の削減と適切な町債管理などによる効率・効果的な財政運営を図って参ります。

●問／総務課財政係 ☎72－5880

平成29年度 各会計の決算状況

区　分	歳　入	歳　出	差引額
一般会計	88億0,019万円	82億9,962万円	5億0,057万円
国民健康保険	20億2,176万円	18億9,320万円	1億2,856万円
公共下水道事業	7億6,548万円	7億5,995万円	553万円
地域集落排水事業	9,734万円	8,669万円	1,065万円
介護保険	18億9,746万円	18億3,880万円	5,866万円
後期高齢者医療	1億7,741万円	1億7,216万円	525万円
上水道収益的収支	4億6,806万円	4億3,643万円	3,163万円

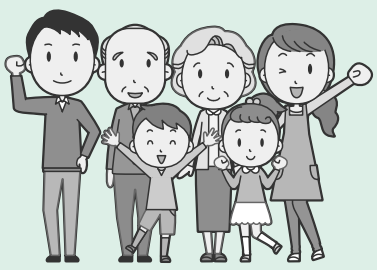
町　債	町が公園や道路、学校などを造ってお金がたくさん必要なときに資金調達するため国や金融機関から借り入れるお金（借金）のこと。

町債現在高および返済額の財源内訳（各会計別）

会計区分	平成29年度末	平成30年度以降の元利償還金		元利償還金の財源内訳			
	町債現在高	利子分	償還金の総額	国が負担する額	貸付金返還金	水道・下水道料金	町民の実質負担額
一般会計	81億3,613万	3億1,432万	84億5,045万	66億2,120万	1億1,770万		17億1,155万
公共下水道事業特会	48億4,771万	7億3,448万	55億8,219万	24億8,332万		19億	11億9,887万
地域集落排水事業特会	4億9,824万	7,371万	5億7,195万	2億6,577万		3,400万	2億7,218万
簡易水道特会	3億8,763万	※29年度より水道事業会計に統合					
水道事業会計	11億9,671万	2億3,745万	18億2,179万	1億9,030万		14億9,406万	1億3,743万
合　計	150億6,641万	13億5,996万	164億2,638万	95億6,059万	1億1,770万	34億2,806万	33億2,003万

参考資料　平成30年3月末の住民基本台帳人口　14,085人
単位未満四捨五入により合計と一致せず

町民１人あたりの実質的な借金



23万5,714円
（前年比▲2万978円）

＊2町債・公債費／歳入項目にある町債は、町が事業を行うために借り入れた金額のこと。国の交付金制度などを活用して、少しでも借入額が少なく済むように工夫しているよ。また、歳出項目にある公債費は、町債の返済額を表しているよ。

＊1一般会計／町で一番大きなお財布のことで、このお金をやりくりしていろんな事業を行っているよ。また、国民健康保険や公共下水道事業など利用者が限定される事業は、「特別会計」という別のお財布を使っているよ。

米～ちゃんの財政はてなワード

平成 31 年度

町立保育園・認定こども園　杉の子幼稚園の入園児を募集します。

〇保育園は、就労などのため家庭で保育のできない保護者に代わって保育する施設です。
〇認定こども園は、幼稚園と保育園の機能を合わせ持ち、教育と保育を一体的に行う施設です。
〇入園申し込みと同時に、教育・保育の必要性について町の認定を受ける必要があります。
〇今回の募集は、新規入園児を対象とするものです。在園児のお手続きは別途お知らせします。

施設区分	保育園（町立）	認定こども園（私立）
施設(定員)	遊佐保育園（80人） 藤崎保育園（70人） 吹浦保育園（80人）	・認定こども園杉の子幼稚園（130人※） ※幼稚園部分（40人） 保育園部分（３歳以上60人　３歳未満30人）
対　　象	保育を必要とする０歳～小学校就学前の子ども	**（保育園部分）**保育を必要とする０歳～小学校就学前の子ども **（幼稚園部分）**満３歳～小学校就学前の子ども
特　徴　等	・1日あたり最長12時間の保育を実施します。 ・一時保育、土曜保育等ご家庭の事情にあわせた保育を実施しています。	・３歳以上の子どもは、保護者の就労状況にかかわらず、一緒に教育・保育を受けることができます。 ・幼児期の情操教育のために「体操教室」「英語教室」等の事業を実施しています。
利 用 時 間	午前７時～午後７時 ※世帯状況によって利用できる時間が変更になることがあります。 ※午後６時～７時の利用は延長保育料が生じます。	**（幼稚園部分）**午前８時 30 分～午後３時 午後３時以降は、預かり保育を実施します。 **（保育園部分）**午前７時～午後７時 ※世帯状況によって利用できる時間が異なる場合があります。 ※午後６時～７時の利用は延長保育料が生じます。
費　　用	町が定める月額保育料（延長保育料を除く） その他保育に必要な実費を徴収します。	町が定める月額保育料（預かり保育料を除く） その他教育・保育に必要な実費を徴収します。
入園申込期間	10 月１日㈪～ 10 月 22 日㈪	**（幼稚園部分）**10 月１日㈪～随時 **（保育園部分）**10 月１日㈪～ 10 月 22 日㈪
申　込　先	各保育園 健康福祉課子育て支援係	**（幼稚園部分）**　認定こども園杉の子幼稚園 **（保育園部分）**　認定こども園杉の子幼稚園 健康福祉課子育て支援係
申込書類※	認定申請書（兼利用希望申込書） 保育の必要性を証する書類	杉の子幼稚園所定の申込書類 認定申請書（兼利用希望申込書） 保育園部分利用の場合は、保育の必要性を証する書類。

※育児休業終了に伴い、年度途中からの利用を希望する場合も受付期間中に申し込みをお願いします。
※希望者が多数いる場合は、家庭の状況や就労状況により希望する施設に入所できない場合があります。
※申込書類の様式は、各施設または子育て支援係に設置しています。また、認定申請書（兼利用希望申込書）等は町のHPからもダウンロードできます。

●問／詳しくは、各施設または健康福祉課子育て支援係までお問い合わせください。

遊佐保育園	遊佐字五所馬場４－１	☎72－2248
藤崎保育園	増穂字西田96	☎76－2008
吹浦保育園	吹浦字苗代34	☎77－2031
認定こども園杉の子幼稚園	遊佐字高砂83	☎72－2345
健康福祉課子育て支援係		☎72－5897

Let's 遊活!! 第6回

縮緬（ちりめん）蓮（れん）の会

活動内容

縮緬蓮の会は、今年度発足した、ちりめん細工の制作グループです。ちりめんと呼ばれる美しい絹織物を中心に、さまざまな古布を使い工芸活動を行っています。語りべの館を活動拠点とし、毎月第3土曜日に、活動をしています。現在の会員は約20名。日本三大つるし飾りといわれる酒田の傘福に大きく貢献された高橋啓子さんが代表を務められ、その指導の下、さまざまな作品を制作しています。

会員の皆さんと寄贈いただいた作品「晩秋」（古布）

語りべの館のある杉沢地区が柿の産地であることから、高橋啓子さんより柿を模した作品の寄贈がありました。寄贈された作品は語りべの館に展示されています。どうぞご覧ください。

縮緬蓮の会からのメッセージ

縮緬蓮の会は遊佐町芸術文化協会に加盟しており、10月7日㈰から予定されている第47回遊佐町芸術祭に作品を出展します。

芸術祭の展示に向け、熱心に取り組んでいます。

11月21日㈬から28日㈬まで、生涯学習センターの大会議室に展示される予定です。今までにない作品展示にしようと、会員一同熱心に取り組んでいますので、ぜひ見に来てください。

縮緬蓮の会では、入会を随時受け付けています。ちりめん細工に興味のある方は、どうぞお気軽にご連絡ください。

●問／縮緬蓮の会　代表　髙橋啓子　☎77-2726

鳥海山・飛島ジオパーク　リレーコラム

「日本海と大地がつくる 水と命の循環」

《第46回》地形を知ることは「命」を守ること

東北学院大学
講師・理学博士
水本　匡起（ただき）氏

「地形」という言葉から、皆さんは静止した「形」を思い浮かべると思います。しかし、地形は常に動き、変化し続けています。例えば、平野は「洪水」によって、山麓の扇状地は「土石流」によってできた「現在進行形」の地形です。さらに、平野や扇状地は、毎日少しずつ土砂が運ばれてゆっくりできるのではなく、大量の土砂が一気に運ばれてできます。自然界では日常の現象であるこれらの「急激な地形変化」のことを、私たちは「自然災害」と呼んでいます。

このように客観的な立場で自然災害を見れば、豪雨災害で目にする光景を「地形の健康な発達過程」「日常の現象」と捉えることができます。そして、「川の仕事は溢れること」「崖の仕事は崩れること」という新しい視点を持ち、「自然災害」を「日常のこと」として組み入れた「効果的な防災対策」を講じることも可能となります。さらに、地形には「過去の大規模自然災害の痕跡」が記録されているので、地域の地形の成り立ちを知れば「想定外」と言われる自然災害を「想定」することもできるのです。

広大な庄内平野

地形を知ることは、命を守ること。「身近な地域の地形」がどのように「動いている」のか、皆さんも一度考えてみませんか？

いざ、夢の実現に向けて！…遊佐町学習支援塾がスタートしました！

9月8日㈯、遊佐町学習支援塾がいよいよスタートしました。学習支援塾は地域の先生方に質問しながら、受験勉強に取り組む教育委員会主催の学習会です。「夢の実現に向け、勉強して力をつけよう」「講師の先生方に感謝の気持ちで学ぼう」という目標で、遊佐中学校3年生の希望者を対象としています。生涯学習センターを会場に、9月から平成31年2月までの土曜日に全19回の開催予定。元教員や地域の方々、東北公益文科大学の4年生を講師に、英語・数学を重点的に学習していきます。

3月に控える高校入試本番に向け、今年度は56名の生徒が参加。この日は開塾式を行った後、数学基礎・数学応用・英語の各教室に分かれ、それぞれ講師の先生の指導の下学習を開始しました。学習会とはいえ、基本的なルールは学校と同様。受験という大きな目標に向かい、講師の先生も生徒たちも緊張感を持ち、真剣な表情で学習に取り組む姿が見られました。

地域の先生からも講師としてご協力いただいています。

受験に向け、真剣に学習に取り組みます。

敬老者の長寿を祝う 町内各地で敬老会が開催

敬老を祝い、今年も各地で敬老会が催されました。敬老者の皆さん、おめでとうございます。

町の敬老者（平30.9.1現在）

	男性	女性	計
70歳以上	1,759人	2,659人	4,418人
古希（70歳）	174人	135人	309人
喜寿（77歳）	78人	103人	181人
米寿（88歳）	37人	78人	115人
白寿（99歳）	1人	8人	9人
100歳以上	4人	18人	22人

特別養護老人ホームゆうすいでは開設20周年記念敬老会が開かれました。

平津小水力発電所が竣工 将来の農家の負担軽減へ

8月27日㈪、月光川土地改良区の平津小水力発電所の竣工式が行われました。水の流れる力で水車を回して発電し、発電量は一般家庭110世帯分に相当。発電した電気は全て売電し、年間売上額は約1,000万円を見込んでるとのこと。石垣理事長は「売電分を農業施設の維持管理費に充当し、将来的には、農家負担軽減につなげたい」とコメントされました。

将来的な農家の負担軽減が期待されます。

フォトトピックス

Photo Topics

響き合う音楽と心

8月26日㈰、生涯学習センターで第26回遊佐町音楽祭が開催されました。今年の音楽祭には14団体が参加。会場にはすばらしい演奏と歌声が響き渡りました。

助け合いの気持ちを胸に

8月28日㈫、藤崎小学校から熊本地震へ７千円、西日本豪雨災害へ６千円の募金をいただきました。この義援金は、日本赤十字社を通し被災地へと送られます。どうもありがとうございました。

感性溢れる作品揃う

8月16日㈭～30日㈭にかけて、生涯学習センター3階展示室でまんが・イラスト展が開かれました。会場にはオリジナルの漫画やイラスト20作品が出展され、訪れた方々を楽しませました。

小山崎遺跡と湧水の密接な関わり …ゆざ学講座第2回

鳥海山の湧水は、縄文の時代から重要な役割を果たしてきました。

９月６日㈭、遊楽里でゆざ学講座が行われました。今回のゆざ学講座は、「小山崎遺跡と豊水の山　鳥海山～郷土財の育成こそ～」と題し、岐阜経済大学教授の森誠一氏からご講演いただきました。

小山崎遺跡は、縄文人の暮らしを現代に伝えてくれる貴重な遺跡です。講演では、「郷土の文化・歴史・民俗である郷土財を育成し、それを守ることが、私たちの生活を守ることにつながる。町においては、鳥海山の恵みである湧水が重要な役割を果たしている」とのお話をいただきました。

安全で活発な地域づくりのために 吹浦地区まちづくり協議会

整備により防災と地域づくり活動の更なる充実を図ります。

吹浦地区まちづくり協議会が、宝くじの助成金を活用して防災・地域づくり活動用備品を整備しました。この事業は、宝くじの収益金を活用しコミュニティの健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報を目的として行っているもの。備品整備により、安全で活発な地域づくりが行われていくことが期待されます。

※(一財)自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源としたコミュニティ助成事業を実施しています。

お詫びと訂正

平成30年9月15日号にて誤りがありました。お詫びして訂正します。

がんばった人にマル

第60回記念県子ども絵画展【子ども県展】　入選

誤）志田　加苗（遊佐保年少）　　正）志田　佳苗（遊佐保年少）

Town Voice

まちかど ホットライン

読者の広場

遊佐町緑の少年団 最優秀賞受賞!!

8月2日㈭に西川町の弓張平公園で行われた「平成30年度第11回山形県緑の少年団交流研修大会」における活動発表大会で、遊佐町緑の少年団が最優秀賞を受賞しました。遊佐町緑の少年団は、藤崎小学校の4年生から6年生までの生徒が入団しており、庄内海岸林形成までの歴史に加え、クロマツ保全活動で学んだことを発表しました。今年の11月には松の植林活動も予定されておりますので、今後も緑の少年団の活躍にご注目ください。

今後も緑の少年団の活躍にご期待ください。

㈱モンベルと包括連携協定を締結

8月25日㈯・26日㈰、鳥海山シー・トゥー・サミットが開催されました。25日の開会式で遊佐町は㈱モンベルと包括連携協定を締結。今後、アウトドア活動を通した地域活性化や環境保全などで幅広く連携を行います。また、26日に予定されていた競技は悪天候のため中止になりましたが、代わりに㈱モンベルの辰野勇会長の講演会が行われ、アウトドア活動への理解を深めました。

包括連携協定を締結した時田町長と㈱モンベルの辰野勇会長

遊佐中学校の生徒がボランティア活動

…振替休日を活用して地域とのつながりを

8月27日㈪、遊佐中学校の生徒たちが運動会の振替休日を利用し、地域のボランティア活動を行いました。

3年2組の生徒たちは、エルパの駐車場に集合し町内の清掃活動を行いました。各班に分かれると、後日に控えるツーデーマーチのコースを中心にゴミ拾いを行い、地域とのつながりや友人との親睦を深めました。

ゴミは探すと意外と見つからない。

1年1組の生徒たちは、杉の子幼稚園で園児とのふれあい活動を行いました。ジェスチャーゲームやじゃんけん列車など、さまざまな遊びで園児たちを楽しませました。

まち協インフォメーション

遊佐 昭和の懐かしい写真を大大大募集中!!

ただ今、思い出マップづくりという企画で、昭和43～45年頃の駅前一区・二区のマップを復刻作成中です。作成に伴い、あの頃の遊佐町を見てみたい！という昭和時代を知らない世代の声や、写真を見て当時の思い出を蘇らせる楽しそうな声を聞き、来年は昔懐かしの遊佐町写真展を開催したいと考えております。駅前一区・二区の昭和時代のお写真なら何でも結構です！お持ちの方は遊佐地域づくり協議会までご一報ください。

●問／遊佐地域づくり協議会　☎72-2120

昔のアルバムなどを探してみてくださいね

Yuza Town Hotline

きらっと・ナウ

佐々木　里桜さん（中吉出）

Rio　Sasaki

平成８年生まれ

子どもが大好き！！！

■一言／

子どものころから小さい子の世話をするのが好きで、幼稚園の先生になりたいと思っていました。今は杉の子幼稚園で、１歳児（すずめ組）の副担任をしています。１歳になるといろんなものに興味が出てくるようになり、よく歩き回ります。うまく言葉が出ずにトラブルになってしまうこともあり、なかなか目が離せません。でも、ジャンプやトイレ、あいさつなど、今までできなかったことがどんどんできるようになっていくのを見ていると、成長を感じて私も嬉しくなります。

休日は、酒田のレインボーカフェや鶴岡の青森屋といったカフェでゆっくりしていることが多いです。レインボーカフェのトーストはすごくおいしいので、機会があったらぜひ行ってみてください。

■町への要望／

私は動物が好きで、家では猫を飼っていますし、休日に動物と触れ合える牧場に行ったりもします。遊佐町にも馬や羊、うさぎといった動物と触れ合えるような所があれば良いなと思います。

これからの遊佐地区を考えよう

…遊佐地区まちづくりワークショップ

８月18日㈯、生涯学習センターで遊佐地区まちづくりワークショップが行われました。この取り組みは、住民が自分たちの暮らす地区のことを考え、「遊佐地区まちづくり基本計画」の策定に向けて行われたもの。当日は老若男女63人の地区住民が参加し、各班に分かれて課題や残していきたいものなどについて意見を出し合いました。５年後の遊佐地区をこんな町にしたい！という想いを実現するため、遊佐地域づくり協議会を中心とした今後の取り組みが期待されます。

じゃんけん列車はどんどん長くなっていくよ！

自分たちの暮らす地域のことだから、たくさんの意見が交わされました。

町内各地区の秋まつり・文化祭のご案内

10月末から11月初めにかけて、各地区で秋まつり・文化祭が行われます。皆さんぜひご参加ください。

地　区	文化祭名	日　付
蕨　岡	第47回蕨岡大文化祭	11月3日(土･祝)、4日㈰
遊　佐	まるっと遊佐まつり	11月3日(土･祝)、4日㈰
稲　川	フェスタinいながわ2018	10月20日㈯・21日㈰
西遊佐	西遊佐ふれあい祭り	10月27日㈯、28日㈰
高　瀬	第８回高瀬秋まつり	11月3日(土･祝)、4日㈰
吹　浦	わくわくフェスタ	11月3日(土･祝)、4日㈰

●問／各地区のまちづくりセンターへお問い合わせください。

遊佐町の農業と移住支援に興味津々　集落支援員だより

遊佐町ブースは常にたくさんの組合員が!

東京東新宿にて、生活クラブの組合員を対象にした「夢都里路くらぶフェア（秋冬企画説明会）」が開催されました。今回は援農（農家のお手伝い）募集に加え、町の産業課から「農業を始める方への支援について」の説明もありました。参加した皆さんは、遊佐町のお米を食べている方が多いので、遊佐町がどんな場所で、どのように作っているのかと興味津々でした。また、遊佐町では移住相談コーナーも設けています。すぐに移住とはいきませんが、援農、お試し住宅、ツアーなどの紹介をして、遊佐町に来るきっかけになる話をさせていただきました。言葉では伝えきれないところを現地に来て体験してほしいと思っています。お話した方と遊佐町で再会できることを願っています。

集落支援員　渋谷一行、佐藤正子

☎72-3981　FAX28-8455（集落支援員事務所：Aコープゆざ店２階）